



プレス発表資料

平成28年7月12日

国立研究開発法人 防災科学技術研究所
国立大学法人 香川大学

国立研究開発法人防災科学技術研究所と国立大学法人香川大学が 四国地域における減災科学の拠点形成を推進するための連携協定を締結

国立研究開発法人防災科学技術研究所（理事長：林春男）と国立大学法人香川大学（学長：長尾省吾）は、平成28年7月19日、四国地域における被害軽減や迅速な復旧復興を目指す総合科学（減災科学）の拠点形成を推進するため、連携協定を締結します。

この協定に基づく活動を通して、防災科学技術の振興と地域の安全と安心に貢献し、地域社会の形成、発展に寄与することを目指します。

1. 内容：別紙資料による

◆協定締結式◆

- 日時 平成28年7月19日（火） 11時～
- 場所 サンポートホール高松 51会議室
- 締結者 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 理事長 林 春男
国立大学法人 香川大学 学長 長尾 省吾

2. 本件配布先：文部科学記者会、科学記者会、香川県教育記者クラブ、筑波研究学園都市記者会

国立研究開発法人防災科学技術研究所と国立大学法人香川大学が 四国地域における減災科学の拠点形成を推進するための連携協定を締結

1. 概要

国立研究開発法人防災科学技術研究所（以下「防災科研」という。）は、防災科学技術に関する基礎研究及び基盤的研究開発等の業務を総合的に実施する国立研究開発法人であり、DONET（※1）の移管、S-net（※2）の整備により、海陸統合のデータ等を最大限活用した地震・津波防災研究の中核的機関として国内外の機関とも連携することとしています。

一方、国立大学法人香川大学（以下「香川大学」という。）は、四国の災害対応拠点として、これらのリアルタイム情報を四国の他機関と共有し、さらにデータ解析結果を提供することにより、四国地域における被害軽減や迅速な復旧復興を目指す総合科学（減災科学）の拠点形成を推進することとしています。

こうした背景から、四国地域における災害への事前の備え及び災害時等のリアルタイム情報収集・発信拠点形成を通して、防災科学技術の振興と地域の安全と安心に貢献し、地域社会の形成、発展に寄与することを目的として、防災科研と香川大学の間で当面5年間の連携協力協定を締結することといたしました。

2. 連携事項

- (1) 災害時のリアルタイム情報収集・発信拠点に関すること
- (2) 地域の国土強靱化に関すること
- (3) 共同研究、人材交流、学術交流等の研究協力に関すること
- (4) 人材育成に関すること
- (5) その他双方が本協定の目的を達成するために必要と認めて合意した事項

3. 締結名義

国立研究開発法人	防災科学技術研究所	林	春男	理事長
国立大学法人	香川大学	長尾	省吾	学長

※1 地震・津波観測監視システム（DONET）は、海底に設置された観測機器ネットワークによって、南海トラフで発生する地震・津波をリアルタイムで常時観測・監視するシステムです。

※2 日本海溝海底地震津波観測網（S-net）は、海域で直接地震や津波を観測するために東日本の太平洋沿岸に世界でも類を見ない大規模な観測網です。

以上